



このたびの熊本地震において被災された皆様方に、心から御見舞いを申し上げます。

厳しい暑さが続く中、停電や、給水が十分に行き届かない地域もあり、地域で暮らす方々の生活と健康を、私たちも大変心配しております。また、困難な状況の中で支援にあたる訪問看護師をはじめ、保健・医療・福祉に携わる皆さまの安全を心より願っています。

被災地域に一日も早く穏やかな日常が戻ることを願いながら、Vol.5では全国から届いた活動をご紹介します。

01 公益社団法人 山梨県看護協会 ますほ訪問看護ステーション 様（山梨県）



町主催「わくわくカフェ」に参加。

ステーション所在地の町の保健室「わくわくカフェ」に2か月に1回お邪魔し、30分のプチ講座の後、個別に健康相談を行っています。

この日はとても暑い日で、汗が止まりませんでしたが、かわいい手ぬぐいで汗をふきふき頑張りました！



手ぬぐい首にまき、入浴介助どんとこい！

02 訪問看護ステーション結い 様（愛知県）



手ぬぐい紹介



夏場の活用法

Instagramにて、手ぬぐいの写真を載せて、夏場の活用方法・防災用品としての活用法を紹介した。地域活動として、地元の老人サロンに毎月参加しており、サロンにて手ぬぐいを紹介したかったが、枚数が足りなかった。

03 坂巻 和代 様（千葉県）



在宅では身近な物で介護や看護をします。てぬぐいもそのひとつ。
てぬぐいの活用方法を通して訪問看護のことをもっとたくさんの人に知って
もらいたいと思い、人目に一番つく下駄箱の上に掲示しました。

ステーションの入り口に設置。

04 光風会訪問看護ステーション 様（富山県）



毎日ステーションで手拭いを使いストレッチをした。
良い企画ですね、また参加したいです。

職員みんなでストレッチ

05 だいもん訪問看護ステーション 様（富山県）



訪問バッグに入れて、日々持ち歩いています。

とどけ、熊本へ。

今、熊本では、私たちの大切な仲間である訪問看護師や多職種の皆さまが、自らの身を守りながら、地域で暮らす方々を支えるために奔走されています。その姿を思うと、本当に胸が締め付けられる思いです。
私たちにできることは、決して大きくないかもしれませんが、それでも、この企画を通して同じ手ぬぐいを手に活動してきた全国の仲間とともに熊本へ心を寄せ、少しでも元気と応援の気持ちを届けたいと思います。
熊本の皆さま、どうかご自身の安全とお身体を第一にお過ごしください。
私たちは、いつも皆さまとともにいます。



活動報告フォームは
こちら

URL <https://forms.gle/FoE8qR744dkLV1Jd6>

ご報告いただきたい内容

- ☒ 活動の内容（300字以内）
- ☒ 活動のお写真
- ☒ お写真のタイトル
- ☒ その他、ご感想など

